

輝ねむろびと

We Love Nemuro!



広げたい返還運動の輪を

「鳩山総理と会い、激励の言葉をいただいたことに感激です。」と話したのは、1月23日札幌市で開催された北方同盟主催の「北方領土を考える」高校生弁論大会で、見事第2席となる優秀賞を獲得し、3月23日には鳩山総理を表敬訪問した牧野裕樹君です。

元島民3世となる牧野君は、幼いころから祖母のふるさとである国後島の話しを聞くうちに、北方領土問題について考えるようになりました。中学生の時に初めて参加したビザなし交流と、高校で創設された「北方領土研究会」に加入してから参加したビザなし

交流では、少しずつ変わっていく国後島の様子とともに、牧野君の北方領土問題への関心も大きく変わりました。

北方領土問題を解決するために、この問題を多くの人たちを知ってもらい、その人たちが情報発信者となって全国に広めてほしい。今回は、そんな思いを熱く伝えられた弁論大会となったようです。

返還要求運動原点の地の高校生として、研究会での活動を伝えるブログも立ち上げ、全国からの声を広く収集している牧野君にとって、総理からの激励の言葉は、今後の活動の大きな糧となっています。

profile まきの ゆうき 牧野 裕樹 君

北海道根室西高等学校 2年

中学校在学中市内で毎年開催の北方領土弁論大会で入賞。東京都内の中学校で開催された「北方領土返還要求育成事業」の一つ「北方領土出前講座」の講師を務める。広島県で行われた「北方領土返還要求キャラバン隊」の一員としても参加。高等学校では「北方領土研究会」に所属。



札幌での「北方領土を考える」高校生弁論大会

市長室のカレンダー

千島桜を望む窓

全国で一番遅く、桜の開花が伝えられる根室。5月には、市役所庁舎前にも、根室市のシンボル「チシマザクラ」が淡く優しい香りを漂わせます。市長室のカレンダーは、そんな季節の移り変わりをとらえながら、足早にめくられていきます。

3月25日の市長室のお客様は、今年小学校の入学を迎えるピカピカの一年生です。

毎年、株式会社損害保険ジャパン根室営業所、明治安田生命保険相互会社根室営業所、第一生命保険相互会社根室支部から贈られる「黄色いワッペン」と、根室ライオンズクラブからの「ランドセルカバー」の贈呈式に出席した3人の一年生は、さっそく市長からワッペンを付けてもらい、緊張しながらもそれぞれの小学校へ通う日を心待ちにしています。

「交通事故に気を付けて、元気に学校へ通ってほしい」という思いは、入学式当日に市長から渡される交通安全用品を通して、皆さんに伝わっていることでしょう。

ほのぼのと、一足早く春の香りに包まれた市長室でした。

《今日のお客様 鈴木 衣音子ちゃん、奈良 悠志くん、高橋 瑠月ちゃん》

